新年のご挨拶

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員
進藤　金日子

新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年も多くの自然災害が発生しました。被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、昨年末に令和元年度補正予算と令和2年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,515億円（対前年度比64億円）を確保できました。これも偏に、農業の競争力強化と美しい農山村の形成に不可欠な土地改良の実施に向けての現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、引き続き「国土強靭化」に重点が置かれたこと、水田の高度利用対策が更に重点化されたこと、農業の競争力強化に加えて中山間地域等の条件不利地域の振興対策が手厚く措置されたことだと捉えています。予算の増額措置により土地改良が更に促進されますが、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えていくことが重要です。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫さんが参議院議員として活躍しております。これも皆様方のご理解とご支援の賜物です。宮崎議員と私とが水鳥の強固な水掻きとしてフル稼働して、皆様と連携しながら「闘う土地改良」を共闘し、引き続き諸課題の解決とともに令和の新たな時代を切り拓くべく専心努力してまいる覚悟ですので、ご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

貴会の益々のご発展と本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年を迎えて

全国水土里ネット会長会議顧問
参議院議員
宮崎　雅夫

新年明けましておめでとうございます。

秋田県の土地改良関係の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私にとっての昨年は大きな前進の年でありました。一昨年の1月から、土地改良の推進、農山漁村の振興のため、地球8周分に当たる30万キロ以上を移動しながら全国各地をお伺いし、地域の状況を自分の目で見て、皆様からのご意見を自分の耳で聞き、私の考えを自分の口で話をさせていただくなどの政治活動を行ってまいりました。秋田県の皆様をはじめ全国の皆様からご支援をいただき、お陰様をもちまして昨年7月末の参議院議員通常選挙において当選の栄に浴することができました。

当選後、8月1日に召集された臨時国会で初登院し、10月4日に召集された臨時国会では、農林水産委員会、決算委員会、地方創生及び消費者問題に関する特別委員会、資源エネルギーに関する調査会に所属しております。農林水産委員会等で三度質問に立たせていただき、土地改良の推進や予算の確保などこれまでの活動中皆様から頂いたご意見を私の質問として農林水産大臣等にしっかり伝えました。党での各種部会での発言なども含め、皆様と国政を繋ぐパイプとしての役割を果たせるよう日々努力してまいります。

昨年も残念ながら台風19号をはじめ一連の自然災害により、約3,800億円を超える農林水産関係被害が生じるなど、農地や農業用施設も全国各地で大きな被害が広範囲で発生いたしました。早期の復旧はもちろんですが、土地改良の農村で果たす大きな役割を踏まえ、防災・減災、国土強靱化の取り組みを強力に進めていかなければなりません。

特に、ため池の耐震対策・豪雨対策などのハード面やハザードマップの整備などのソフト面の対策は待ったなしです。政府の「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」による集中的な取り組みが終了する令和2年度以降も更に取り組みが促進するよう全力で取り組んでまいります。

そして、それぞれの地域農業が発展するための基礎となる基盤整備は、着実に進めていかなければなりません。省力化だけではなく若者の興味も高めるスマート農業は平地のみならず中山間地も推進していく必要があります。そのためには情報基盤の整備を含め基盤整備は欠かすことのできないものです。

これらの計画的な実施には、土地改良予算の安定的な確保が必要不可欠です。皆様からの大変大きなご支援により、令和2年度は、当初4,973億円、補正1,542億円の6,515億円を確保することができました。今後ともこの流れを止めることのないよう尽力してまいります。

また、産業政策だけではなく、家族農業や中小規模の農家、兼業農家の役割を再確認しつつ、地域農業、農村集落自身を守っていくための地域政策をバランスよく実施していかなければなりません。農政の基本となる食料・農業・農村基本計画の5年に一度の見直しが進められていますが、その中にもしっかりと位置づけられる必要があります。

私は「土地改良、農山漁村は未来への礎」と訴えてまいりました。令和の新しい時代に皆様のご意見を伺いながら土地改良を推進することにより、世界に誇る我が国のすばらしい農山漁村を子供たち孫たちに引き継げるよう、先輩の進藤金日子参議院議員と力を合わせて努力をしてまいります。12年ぶりに土地改良二人体制となり、人口減少社会に突入した我が国の状況を踏まえ、土地改良の必要な見直しも大胆に進めていきたいと考えております。また、農村女性の創造力や企画力、行動力などは、これからの農村振興を加速する重要な原動力と考えています。昨年12月には「全国水土里ネット女性の会」が設立されたところであり、今後の活発な活動に私もお手伝いをさせていただきたいと思っています。引き続き進藤議員と私にご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

今年は、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、更に多くの外国人の方が日本に来られることが期待されています。日本の農業、農村のすばらしさを皆様どんどん発信してまいりましょう。

最後に、本年が皆様にとってよりよい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

令和元年度 土地改良関係団体役職員講習会を開催

今年度は、11月15日（金）の平鹿支部役職員講習会を皮切りに12月6日（金）まで県内9会場に於いて、延べ718名の関係者が参加し盛会のうちに終了することが出来た。

髙貝会長挨拶

能見次長挨拶
（11月15日平鹿支部役職員講習会）

■水土里ネット秋田からの情報提供

①「会計指導員が行う指導監査について」
②「相続財産管理人制度の活用支援について」

■各支部の日程及び主な個別テーマ

○平鹿支部（役職員）11月15日（金）
個別テーマ「“農業×ＡＩ＝イノベーション”を土地改良で支えよう」
講師：東北農政局旭川農業水利事業所　所長　坂根　勇

○山本支部（役職員）11月18日（月）
個別テーマ「秋田県の農業農村整備について」
講師：秋田県農林水産部　次長　能見　智人

○鹿角、大館・北秋田支部（役職員）11月19日（火）～20日（水）
個別テーマ①「にんにくの一大産地化による地域活性化を目指して」
講師：株式会社しらかみファーマーズ　代表取締役　小林　郷司
個別テーマ②「農地バンク5年後見直しについて」
講師：公益社団法人　秋田県農業公社　次長(兼)農地改良課長　田口　博

○仙北支部（役員）11月21日（木）～22日（金）
個別テーマ①「私のデザインする農山村」～仙北市に移住して～
講師：仙北市役所観光商工部観光課（兼）農山村体験デザイン室
課長（兼）室長　泉谷　衆
個別テーマ②「仙北地域の新たな動き」
講師：秋田県仙北地域振興局　局長　佐藤　暢芳

○仙北支部（職員）11月28日（木）
個別テーマ「ビジネスマナーについて」
講師：株式会社北都銀行　お客様相談室　時田　悦子

○雄勝支部（役職員）11月29日（金）
個別テーマ「スマート農業に対応した農業農村整備について」
講師：一般財団法人　日本水土総合研究所　調査研究部　部長　瀧川　拓哉

○由利支部（役職員）12月3日（火）
個別テーマ「郷土の文人『小島彼誰（夕雨）』の文芸と生涯」
講師：小島彼誰顕彰会　幹事長　鈴木　憲一

○秋田支部（役員）12月4日（水）
個別テーマ①「農地バンク５年後の見直しについて」
講師：公益社団法人　秋田県農業公社　次長(兼)農地改良課長　田口　博
個別テーマ②「これからの農業農村整備について」
講師：秋田県農林水産部農地整備課　課長　舛谷　雅広

○秋田支部（職員）12月6日（金）
個別テーマ「これからの農業農村整備について」
講師：中泉　松司

▲佐藤暢芳氏
（11月21日仙北支部役員講習会）

▲坂根勇氏
（11月15日平鹿支部役職員講習会）

▲中泉松司氏
（12月6日秋田支部職員講習会）

▲山本支部役職員講習会
（11月18日　大潟村）

▲仙北支部職員会
（11月28日　大仙市）

令和2年度農業農村整備事業関係予算

概算決定の概要

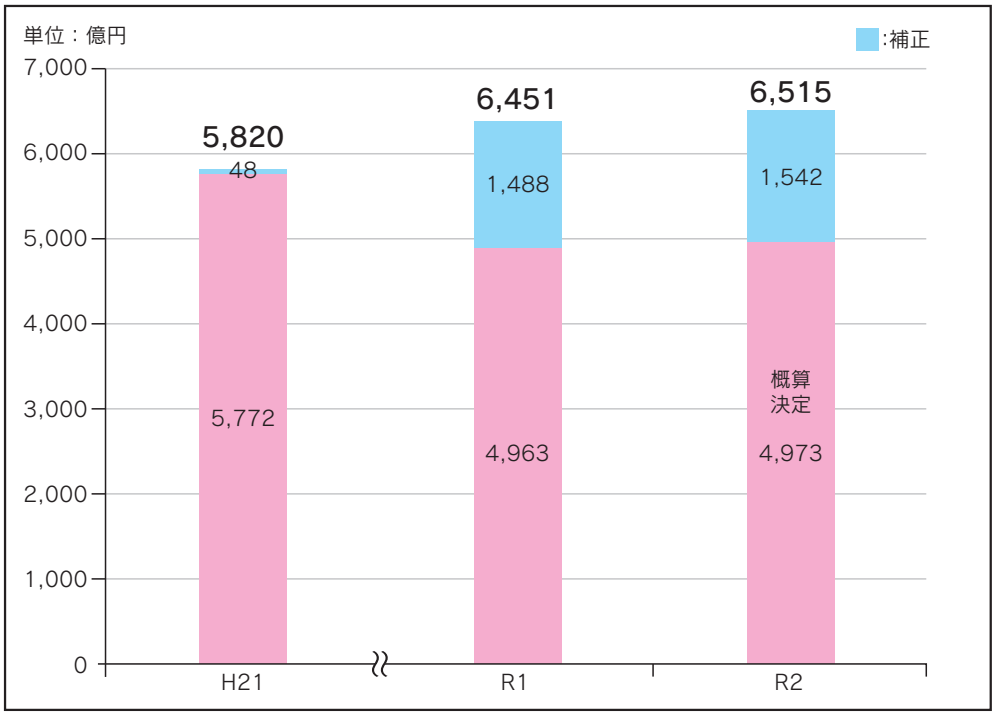
令和2年度農林水産予算について、12月20日に下記の内容が閣議決定された。

（単位：億円）

区　　分	2年度 概算決定額 A	2年度 臨時･特別の措置 B	元年度 補正額 C	合　計 A＋B＋C	【参考】 元年度 予算額 A’	30年度 補正額 B’	合　計 A’＋B’
農業農村整備事業（公共）	3,264 （100.1%）	－	－	3,264	3,260	－	3,260
農地耕作条件改善事業	250 （83.3%）	－	－	250	300	－	300
農業水路等長寿命化・防災減災事業	258 （124.0%）	－	－	258	208	－	208
農山漁村地域整備交付金（公共） （農業農村整備分）	661 （101.7%）	－	－	661	650	－	650
農業水利施設等・ため池の防災・減災対策（公共）	－	540	－	540	546	－	546
総合的なTPP等関連政策大綱に基づく施策の実施	－	－	946	946	－	942	942
水害等への防災・減災、国土強靭化の更なる推進	－	－	596	596	－	546	546
計	4,433	540	1,542	6,515	4,963	1,488	6,451

（注）1．計数は四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。
　　2．下段（　　）書きは、令和元年度予算額との比率である。

農業農村整備事業関係予算（当初及び補正）の推移



＜注目事項＞

○農業農村整備予算は4,973億円を計上。令和元年度補正予算と合わせて6,515億円となる。

○平成22年度大幅削減となった農業農村整備予算が削減前の平成21年度当初予算を大幅に超える額となった。